

●申し込み方法●

1. 下記申込書に記入のうえファクスするか郵送してください。  
(WEBサイトの申し込みフォームから申し込むこともできます)
2. 発送にあわせて送金に必要な郵便振替用紙などをお送りしますので、送金をお願いします。

●送料の目安●

DVD 1 枚 送料140円  
 DVD 2 枚 送料210円  
 DVD 3 枚 送料250円

映像ドキュメント.com

<http://www.eizoudocument.com/>

〒113-0001 文京区白山1-31-6-201 スペース白山内  
 FAX: 03-3868-0091 (新住所・新番号)  
 郵便振替口座: 00130-0-718198  
 (ゆうちょ銀行 019店 当座 0718198)

申込書

- |   |       |       |   |
|---|-------|-------|---|
| <input type="checkbox"/> 18歳のためのレッスン第1回小森陽一   | 1200円 | _____ | 個 |
| <input type="checkbox"/> 18歳のためのレッスン第2回樋口陽一   | 1200円 | _____ | 個 |
| <input type="checkbox"/> 18歳のためのレッスン第3回高橋哲哉   | 1200円 | _____ | 個 |
| <input type="checkbox"/> 18歳のためのレッスン第4回西谷修    | 1200円 | _____ | 個 |
| <input type="checkbox"/> 18歳のためのレッスン第5回小林節    | 1200円 | _____ | 個 |
| <input type="checkbox"/> 18歳のためのレッスン第6回浜矩子    | 1200円 | _____ | 個 |
| <input type="checkbox"/> 18歳のためのレッスン第7回前田哲男   | 1200円 | _____ | 個 |
| <input type="checkbox"/> 18歳のためのレッスン第8回ユンカーマン | 1200円 | _____ | 個 |
| <input type="checkbox"/> 18歳のためのレッスン第9回澤地久枝   | 1200円 | _____ | 個 |
| <input type="checkbox"/> 18歳のためのレッスン第10回山田厚史  | 1200円 | _____ | 個 |
| <input type="checkbox"/> 18歳のためのレッスン第11回徐京植   | 1200円 | _____ | 個 |

その他のDVD

- |  |       |       |   |
|--|-------|-------|---|
| <input type="checkbox"/> DVD『谷中で戦争を語りつぐ』       | 1200円 | _____ | 個 |
| <input type="checkbox"/> DVD『あぶない憲法のはなし(小森陽一)』 | 1200円 | _____ | 個 |
| <input type="checkbox"/> DVD『井上ひさしさん九条を語る』     | 1200円 | _____ | 個 |
| <input type="checkbox"/> DVD『加藤周一さん九条を語る』      | 1200円 | _____ | 個 |
| <input type="checkbox"/> DVD『ドキュメントチェルノブイリ』    | 1200円 | _____ | 個 |
| <input type="checkbox"/> DVD『講演会・低線量被曝に向き合う』   | 1800円 | _____ | 個 |

お名前 \_\_\_\_\_ (備考欄)

ご住所 〒 \_\_\_\_\_

メールアドレス(ありましたら) \_\_\_\_\_

【講演会】

# 低線量被曝に向き合う チェルノブイリからの教訓

2012年4月21日 東京大学弥生講堂

チェルノブイリとウクライナの子どもの健康  
 エフゲーニヤ・ステパーノヴァ (ウクライナ国立放射線医学研究センター)

チェルノブイリ原発事故の放射線的・医学的影響  
 ミハイル・マリコ (ベラルーシ科学アカデミー)

低線量被曝影響についての“枠組み転換”？  
 低線量被曝にもなる非ガン影響

今中哲二 (京都大学原子炉実験所)

ほか



チェルノブイリの放射能汚染は人々に、とくに子供にどのような健康被害をもたらしただのか。低線量被曝による健康への影響は？ 福島原発事故後の日本が学ぶべきチェルノブイリの教訓とは。

ベラルーシとウクライナからチェルノブイリの放射線影響の専門家を招き開催された講演会の全記録。223分。

●内容●

《前編》114分

開会・司会 長沢栄治 (東京大学東洋文化研究所教授)

主催者挨拶 矢ヶ崎克馬 (市民と科学者の内部被曝問題研究会)

講師紹介 今中哲二 (京都大学原子炉実験所) 16分07秒

講演「チェルノブイリとウクライナの子どもの健康」

エフゲーニヤ・ステパーノヴァ (ウクライナ国立放射線医学研究センター) 48分38秒

講演「チェルノブイリ原発事故の放射線的・医学的影響」

ミハイル・マリコ (ベラルーシ科学アカデミー) 49分36秒

《後編》109分

「低線量被曝影響についての枠組み転換? ~低線量被曝にもなる非ガン影響」今中哲二 (京都大学原子炉実験所) 17分23秒

福島事故をめぐる現状について 松井英介 (岐阜環境医学研究所) 6分50秒

質疑応答

司会: 押川正毅 (東京大学原発災害支援フォーラム) 松井英介 77分07秒

挨拶 家田修 (北海道大学スラブ研究センター)

閉会挨拶 島蘭進 (東京大学原発災害支援フォーラム) 8分09秒

2012年7月 DVD2枚組 全223分  
 DVD頒価: 1800円 (送料210円)

※在庫がなくなりました。手製のディスクコピーになります。

企画: 東京大学「低線量被曝に向き合う」講演会実行委員会  
 制作: 映像ドキュメント.com





復刻版

# ドキュメント チェルノブイリ

## 高木仁三郎さんの遺言

チェルノブイリ原発事故の様々な映像を日本において再構成し、解説した“高木仁三郎さんの遺言”。福島原発事故がつづくなかで、改めてチェルノブイリで起こったことを知ってほしいと思い、復刻しました。

原子炉建屋の屋上には、砕け、吹きとばされた黒鉛が一面につもっている。除去作業にあたる人々は、スコップで黒鉛のかけらをひとつひとつ、建屋のはずれまで運んで放りなげる。カメラのとらえた場面を見ていると、自分自身が被ばくをしていくような錯覚におちいる。フクシマ後のいま、この映画は肉声で語られる“高木仁三郎さんの遺言”だったのだと思う。

2011年7月 本編24分  
DVD頒価：1200円(送料140円)  
〈図書館価格：9000円〉  
※人数が集まる集会などでの上映は、別途上映料をご検討ください。  
※元の16ミリフィルムの貸出もできます。  
解説：高木仁三郎(原子力資料情報室)  
DVD制作：映像ドキュメント.com  
(1987年3月初版公開、1988年7月改訂版制作：反核パシフィックセンター東京)

# 映像ドキュメント.com

映像ドキュメント.comは、映像ドキュメンタリーから学び、自らも映像を通じ表現していきたいと集まった有志の集団で、手弁当で活動しています。いわゆる市民メディアで、自分たちのWEBサイトとYouTubeで映像を発信しています。

<http://www.eizoudocument.com/>

もともとがビデオ素人でそれぞれ仕事をかかえている状態、テキパキとは編集・公開できず、撮影データが積み上がっていますが、映像がないことにははじまらないので、少ない人数で走りまわっています。各自の自発性に頼っているような集団でかなりおおざっぱな集まりですが、かかわってみようという人がいましたら、ご参加ください。またカンパでご支援いただくと助かります。

## 16ミリフィルム貸出



スカンジナビア半島の北部でトナカイの遊牧生活を営むサミ（ラップ）の人々のチェルノブイリ後を描いた映像詩。

スカンジナビア半島の北部でトナカイの遊牧生活を営む少数民族サミ（ラップ）の人々は、豊かな大自然のなかに、生活のすべてをつくりあげてきた。ところが、チェルノブイリの死の灰が彼らの地を突然襲った「あの日」以来、彼らの生活は根本からくつがえされてしまった。彼らの暮らしぶりと、サミ人の夫婦ユンさんとリリムールさんの淡々とした語り口のなかから、サミの人たちの心が伝わってくる作品。ベルリン映画祭特別賞受賞。 16ミリ 72分

1987年 スウェーデン  
ステファン・ジャール監督  
日本語版制作 1988年3月(反核パシフィックセンター東京)

16ミリフィルム貸出料：3万円

映画パンフレット『脅威』400円  
(1988年制作時のもの、日本語版台本など。サイトをPDFファイルで公開しています)



## 半減期 HALF LIFE “被ばく難民”となったマーシャル諸島の人々が海のかなたから発する警告は——

米国の核実験で被ばくしたマーシャル諸島の人々を追ったドキュメンタリー。核をもつ側の人々の傲慢な姿、それによって被害を受けた人々の苦しみと人間としての尊厳が、くどい説明なしに描き出される。ラストシーン近くのおばあさんの言葉を聞いてほしい。太平洋で何が行われてきたのか、核とは、放射能とは——核時代のまっただなかに生きる私たちへの貴重な警告といえる映画。ベルリン映画祭参加作品。 16ミリ 80分

1985年 オーストラリア  
デニス・オロウク監督  
日本語版制作 1987年6月(反核パシフィックセンター東京)

16ミリ(マグネット音声)  
貸出料：3万円



※映画パンフレット(1987年制作時のもの、日本語版台本など)をサイトをPDFファイルで公開しています。 3